

10年先見据えて 田 激動期生き抜く 酒

中小企業向け講演会

庄内商工中金会（弦巻伸会長）など主催の講演会が14日、酒田市のホテルリッチ&ガーデン酒田で開かれた。商工総合研究所（東京）の青木剛専務理事が「写真」の青木剛専務理事が「経営の針路 激動の時代を生き抜く突破口」と題し講演。10年先を見据えた中小企業の課題などを示した。



青木氏は、意思決定の速

さなど「中小企業の時代が来た」と指摘。「変化の時代は、過去の成功体験が今後の成功につながるとは限らない」とし、中小企業が10年先を見据え▽ビジネスモデルの検証▽経営者の経営力の磨き上げ▽IT人材の育成—などを課題として上げた。

さらに社員に売値を大事にすることや顧客の困り事を探す習慣づけなどを通して「付加価値重視の意識を社内に浸透させ、生産性を高めて激動の時代を切り開いてほしい」と激励した。

商工中金酒田支店の取引企業で構成する同会と商工中金庄内みどり会、中金庄内ユース会、同支店が企画し、約70人が聴講した。